

わらどん

令和3年9月24日

発行責任者
早川北小学校
校長 早川卓也

みんなの力 みんなの笑顔 あきらめないで 全力を出そう!



十月九日(土)の「わらべどんぐり祭り」本番まで、いよいよ二週間あまりとなりました。「わらべどんぐり祭り」は北小の最大行事であると共に、古くは三里小時代から続く地域に育てられてきた伝統行事でもありません。それ故にこれまで地域との関わりを大切にしてきたわけですが、今年も、新型コロナウイルス感染症防止対策として、例年行っていた地域の皆様との交流は行わず、内容を縮小し、

みんなの力で「わらどん」を成功させよう!

夏休みが終わり一ヶ月が過ぎようとしています。山梨県下に「まん延防止等重点措置」が適用され、不安も募る中でこの二期のスタートでしたが、これまで以上の感染予防対策をとりつつも、ここまで順調に学校生活が送れていることにほっとしています。北小の秋の実りは「わらべどんぐり祭り」。いよいよ、十月九日(土)に本番を迎える運びとなりました。

児童家族のみの参観とさせていただきます。参観に際しては、本当に申し訳ない思いでいっぱいです。子どもたちは自分たちで考えたスローガン「みんなの力 みんなの笑顔 あきらめないで 全力を出そう!」のもと、わらべどんぐり祭りを成功させようと、力を合わせて取り組んでいます。「伝統の民話劇に、全校合奏、体育部門の一輪車や北小体操の取り組み」と、やることがいっぱいで、大変なのですが、この苦労があるからこそ成長があるのだと思います。

児童家族のみの参観とさせていただきます。参観に際しては、本当に申し訳ない思いでいっぱいです。



五月に田植えを行い、六月に田の草取りを体験させていた。いたヘルシー美里前の田んぼには、黄金色をした稲穂が実っています。これまでと同様に早川



稲刈りを行いました

九月六日(月)、秋の長雨の合間を縫って全校児童で稲刈りを実施しました。

稲刈りの方々に御協力をいただいたの実施となりました。まず、稲の刈り方や、刈った後の処理について説明をしていただきました。また、田んぼの中にあるヒエについても教えていただきました。

最後の急坂を切り切ると視界が開け、ブナの林が広がっていました。「ブナは標高の高いところではないと生育しにくい木なんだよ。」と教えていただきました。

夏休み中の七月二十九日に、「緑の少年隊」の活動第二弾として森林体験活動を実施しました。

山の中には、穴だらけの大きな木や、とても良い香りの葉っぱ、アナグマのトイレなど普段なかなか目にできない不思議なものがいっぱいで、みんな目を輝かせています。

緑の少年隊 森林体験活動 「ブナの林を見に行こう」



冒頭の記事でも触れましたが、今年度の「わらべどんぐり祭り」も内容を縮小し、家族限定での開催となりました。地域の皆様をお招きすることができず、大変申し訳なく思っております。今回のお祭りの様子は、次回「わらどん」などでお知らせする予定です。今後とも変らぬ御支援をよろしく願っています。

北小に隣接する郷土資料館の軒下にスズメバチが巣を掛けてしまいました。教育委員会にお願いし、すぐに除去をしていただきましたが、学校周辺を飛び回る蜂の姿も見られます。校舎北側の駐車場をご利用の際には、ぜひ蜂に気をつけていただきたいと思います。

豊かな自然環境に囲まれた早川に暮らす子どもたちですが、「山に入ったことがない。川で遊んだこともない。」と、意外なほど生活と自然との関わりが少ない児童が多いと感じています。こうした体験活動によって、ふるさと早川の良さを発見し、地域を見直すきっかけになってくれることを期待しています。

お知らせ